



陶韻クラブ

第9号

ジャパンデー

今年もジャパンデーに参加することになりました。4月12日（土）に米軍基地内にある将校クラブにて行われます。

準備に当たり、当日の参加奉仕の会員を募集しております。

少なくとも10人ぐらいの会員が奉仕してくださいれば活動できます。

是非参加してください。

また、過去に参加した時の提案事項として次の内容が挙げられていました。

（1） キャラクター型用の団子粘土は前日に作っておく。

（2） 作品を載せる段ボール板は小さいと使えない。

（3） 漢字のキャラクター型は好評だった。

（4） 陶芸の製作過程

（粘土成型→素焼き→釉掛け→本焼き）を説明したポスターがあれば良い。

粘土を替えます

「お楽しみ会」についてお知らせしていたとおり、3月から、「赤」および「並コシ」粘土をそれぞれ単体で使って様子をみます。

粘土が混ざらないよう管理する必要があるため、時期をずらして使用します。とりあえず、3月からは「赤」粘土を使っていきます。

焼き物の歴史1

焼き物の知識の今回は歴史についてです。歴史の第1回は縄文土器です。



焼き物の始まりは土器だったのですが、わが国の土器は先史時代から作られていて、世界でも最も古いもので、なかには一万年以上の昔のものもあります。



縄文土器は、縄文時代（紀元前14,000～紀元前1,000年頃）に作られた土器です。

その特徴は黒褐色の厚手の土器で、表面に縄目状の模様があることです。

これは形をつくる時、形を整えるために縄紐を巻いた棒や板で、器物の表面を叩いたり、転がしたりしたので、表面に縄の跡がついたため縄文土器と名付けられました。

焼成温度は約600度の低温のため、強度が弱くそれを補うべく厚手に作られたと考えられています。



※国宝 火焰型土器

その後、表面を彫ったりおしついたりした文様のものも作られました。その文様、意匠も美しく、姿もいろいろあります。

多数の縄文遺跡がある東北地方をはじめ、縄文土器は日本各地で出土しています。デザインは地域や時代によって多種多様です。



※国宝 合掌土偶

用途としては日常的な調理の他に、「祭祀」（さいし）祖先や神をまつる儀式）にも用いられたと考えられています。

今後の予定

- 1 ジャパンデー準備
日時 4月11日（金）
18:30から美工室
- 2 ジャパンデー
日時 4月12日（土）
08:00～16:00
- 3 令和7年度 総会
日時 4月25日（金）
場所 美工室
- 内容・新入会員紹介
・行事報告・会計報告
・今年度の予定
・会則・運営の方法
・名簿・各組の班名簿
- ※当日は配布資料が沢山あります。欠席の方は誰かに頼んでおいて下さい。
- 次に挙げる予定については日時等が決まり次第お伝えします。
- 4 新入会員歓迎会
- 5 釉薬掛け
- 6 本焼き